

事務事業名		小中学校空調設備整備事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業				
総合計画	政策名	豊かな人を育むまちづくり				所属課	学校教育課	担当	学校教育	
	施策名	教育環境の充実				課長名	手塚 健一	担当者名	森田 洋行	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等		
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～	年度)
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 町立小中学校の空調設備(エアコン)に関しては、職員室、校長室(中学校のみ)、保健室等、一部の部屋のみに整備されており、普通教室、特別教室については未整備であることから、平成24年度、扇風機を設置したものの、十分な環境整備には至らず、今年度(H25)のような猛暑にあつては、児童、生徒はもとより、教職員においても体調に支障を来している状況にある。</p> <p>また、学校、及びPTAからは、数年にわたり継続要望案件となっている。 このようなことから、早期に町立小中学校の全室空調設備(エアコン)を整備することにより、教育環境の充実を図る。 なお、設置済みの扇風機と併用することにより空調効率が良くなるため、電気料等は空調単品と比較して安価となるため、扇風機設置が無駄になるものではない。</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) 1) 3小学校調査設計管理費500万円(船生150玉生200大宮150)、工事費14,000万円(船生3,600玉生6,100大宮4,400)計14,500万円 2) 中学校調査設計費200万円、工事費7,000万円 計7,200万円</p>								

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	公立学校の全室空調設備の整備	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	在籍児童、生徒、教職員	ア 小学校	校
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	教育環境の充実	イ 中学校	校
		(5) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位
		名称	単位
		ア 在籍児童数	人
		イ 在籍生徒数	人
		(6) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位
		名称	単位
		ア 空調設備整備済み学校数	校
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	3	3	3	3	3	3
	イ	実績値						
対象指標	ア	目標値	545	535	530	525	520	500
	イ	実績値	319	310	305	300	295	280
成果指標	ア	目標値		4	4	4	4	4
	イ	実績値	0					

計画		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円		53,000			
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円		164,000			
	事業費計(A)	千円	0	217,000	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人		1			
	延べ業務時間	時間		100			
	人件費計(B)	千円	0	400	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	217,400	0	0	0	

実績		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	0	

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	町立学校の環境整備	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	教育環境の整備、充実は行政の責務であり、早急な対応が必要。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	市場価格、過去の実績等を参考に算出。 4校一括発注となれば更なる経費節減が可能。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	公立学校施設の整備	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 26 年 8 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 事業費が大きいので、財務担当と調整すること	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) ・近隣の自治体は、整備を進めている情報を得ている ・年々厳しくなる夏場の環境から早急に整備したい。生徒の学習環境改善は学力向上の面でも重要 ・計画的な事業を遂行し、予算の平準化を図る必要がある

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業